

田畑を守るおいしいさん

出雲市立北陽小学校六年

三加茂栞希

私のおいしいさんは奥出雲町に住んでいて、
おいしい野菜やお米を育てています。春は、
春は、ジャガイモの収穫の手伝いに行きま
す。おいしいさんが畑を掘り起こすとジャガイ
モがゴロゴロと出てきてうれしい気持ちにな
ります。小づぶのジャガイモは、砂糖やしょ
う油で甘辛くになるととてもおいしいです。

おいしいさんの家の前や裏山の奥には、田ん
ぼがたくさんあります。春、田起こしをして
白かきが行われると田んぼがどこも池の鏡の
ようになり、太陽や夕日か照らされるとして
もきれいに光ります。夜になるとカエルか鳴
いて大合唱になります。田植えをして稲かす
くすくと生長すると、緑のいっとうたんよう
です。風かふくと長くのびた稲かさらりと
ゆれて波打つようでおもしろいです。
おいしいさんは、お米の白い花か咲く前に田
んぼの周りに鉄柵をします。鉄柵はとも

重いので、腰を痛めているおいしいさんには大変な作業です。昔は、鉄柵は必要なかったそうですか、近年は、イノシシ如山から下りてきて田畑をあらすようになり大事なお米を守るためには、柵をするようになったそうです。

稲を育てるためには、水の管理が必要です。おいしいさんは、いつも朝、早起きをして田んぼの水の量を確認しに行きます。今年の冬はあまり雪が降り積もらなかつたし、夏は、雨かほとんど降らないので、水不足にならないか心配しています。

田んぼや畑の周りにはたくさん草が生えていて、暑い夏もぐんぐん伸びて困るそうです。先日は、草刈りをしている時にマムシが出て退治したそうです。私は、その話をおいしいさんが聞いてびっくりしました。

夏は、トマトやキュウリ、トウモロコシ、ピーマン、シシトウなどのたくさんのおいしい野菜が収穫できます。採れたての野菜は、とてもおいしいです。私は、この中でもピー

マンとキユウリが大好きです。

お盆には、バーベキューをしました。奥出雲和牛がとってもやわらかくておいしかったです。おいしいさんが育てた夏野菜も焼いて食べました。仁多米のおにぎりは、もちもちしていて甘くておいしかったです。みんなでにぎやかに楽しく過ごせようしかったです。

今年の夏、大変なことが起きました。おいしいさんが大切に育てていたカボチャが全て野生の生き物に食べられてしまっただろうです。

おじいさんは、とても悔しかった。山里で野菜やお米を育てていくことは、とても大変なことだと思いました。でも、おじいさんは、先祖代々受け継がれてきた

先祖代々受け継がれてきた田んぼや畑を大事に守っていきたい。と、言っています。

私は、農家の人の大変さを知ったので、これからは、感謝しながら食べ物を食べたいと思います。